

# こども・若者の支援に関する調査 ご協力をお願い

日ごろから市政の推進にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

常滑市では、2023年4月に施行された「こども基本法」に基づき、こども・若者を地域全体で支えるための方針として「(仮称)常滑市こども計画」の策定を進めています。

この調査は、こども・若者の支援にかかわる皆さまのご経験や日々の活動で思うことや感じていることをおうかがいし、常滑市のこども・若者、子育て家庭が抱える課題や今後の支援策について検討する際の基礎資料とするために実施するものです。

ご多用中のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2026年5月

常滑市長 伊藤 辰矢

## 調査の概要・ご回答にあたっての注意事項

- この調査では、こどもや若者、子育て家庭を取り巻く課題（居場所、ひきこもり、ヤングケアラー、虐待、貧困、その他様々な困難を抱えていると思われるこども・若者など）の状況などをお聞きします。
- 個人を特定できない範囲で、できるだけ具体的に回答してください。また、貴機関・団体の活動状況により回答しにくい設問については、無回答のままで構いません。
- 回答が終わりましたら、メールにて6月1日(月)までにご返送ください。  
【返送先メールアドレス：koshien@city.tokoname.lg.jp】  
※紙での回答をご希望の方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

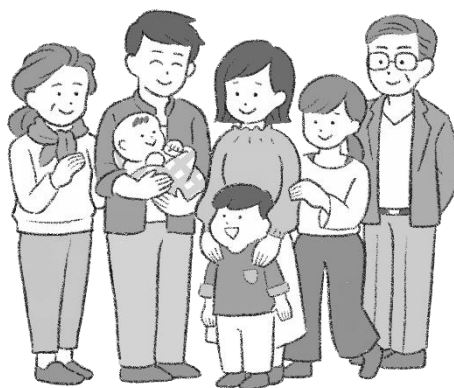
### <調査に関するお問い合わせ先>

## 常滑市 こども健康部 子育て支援課

住所：〒479-8610 愛知県常滑市飛香台3-3-5

電話：0569-47-6150 FAX：0569-35-7879

メールアドレス：koshien@city.tokoname.lg.jp



# 1. ご記入いただく方について

①機関・団体名等	
②調査票記入者	
③連絡先	電話番号
	メールアドレス
④活動範囲 (〇はいくつでも)	1 常滑市全域 <input type="radio"/> ) 2 常滑市の一部地域 ( <input checked="" type="radio"/> ) 3 その他 ( <input type="radio"/> )
⑤活動の対象者 (〇はいくつでも)	1 障がいを持つ子どもやその保護者 <input type="radio"/> 2 ひきこもり・不登校の子どもやその保護者 <input checked="" type="radio"/> 3 非行歴のある子どもやその保護者 <input checked="" type="radio"/> 4 高校を中退した子どもやその保護者 <input checked="" type="radio"/> 5 外国にルーツを持つ子どもやその保護者 <input type="radio"/> 6 児童養護施設の出身者・在籍者 7 ひとり親世帯 8 経済的困窮世帯 9 特に限定していない 10 その他 ( <input type="radio"/> )
⑥対象者となる 年齢 (〇はいくつでも)	1 乳幼児 <input type="radio"/> 7 1～6以外の子ども(18歳未満) 2 就学前児童 <input checked="" type="radio"/> 8 1～6以外の若者(18歳以上) 3 小学生 <input checked="" type="radio"/> 9 子育て中の保護者 4 中学生 <input checked="" type="radio"/> 10 特に限定していない 5 高校生 <input type="radio"/> 11 その他( <input type="radio"/> ) 6 大学生・専門学生など

## 2. 普段の活動について

問1 こども・若者やその家庭に対して、具体的にどのような支援を行っていますか。主な活動について次の選択肢の中から選び、支援の内容について具体的に記入してください。

主な活動 (〇はいくつでも)	1 居場所支援 2 学習支援 3 不登校児童生徒への支援 4 相談・カウンセリング 5 外国にルーツのあるこどもの支援	6 ひとり親支援 7 若者の就労・自立支援 8 療育・福祉支援 9 その他 ( )
具体的な支援内容 (自由記述)		

問2 貴機関・団体が活動を行う中で、現在抱えている課題はなんですか。(〇はいくつでも)

1 機関・団体の運営に関する経験や情報が不足している 2 機関・団体を継続するための資金が不足している 3 機関・団体運営の中心的役割を担うスタッフが不足している 4 機関・団体運営をサポートするスタッフやボランティアが不足している 5 金銭面以外の理由で活動に必要な物資、場所、設備の確保が難しい 6 広報の方法がわからない 7 支援を必要とする対象（こども・若者、保護者）の把握が難しい 8 支援を必要とする対象者に来てもらうことが難しい 9 支援している対象者に変化が見られない 10 参加者が少ない 11 参加者が多く、対応できない 12 参加者の個人情報の管理が難しい 13 他機関・団体との連携が不足している 14 その他 ( )
--



問5 問4で回答した選択肢で、具体的な内容、よく見聞きする事例や状況について記入してください。（「番号」は問4の選択肢番号を記入）

番号	具体的な内容、事例、状況など
	.
	.
	.

問6 活動の中で、子ども・若者から困りごとや悩みごとを聞くことはありますか。（○は1つ）

1 よく聞くことがある	3 あまり聞くことがない
2 ある程度聞くことがある	4 まったく聞くことがない

問6で「1 よく聞くことがある」「2 ある程度聞くことがある」と回答した方にうかがいます。

問7 どのような困りごと・悩みごとを聞きしましたか。また、それらを解決するために、どのようなサポートをしていますか。具体的な内容を記入してください。

困りごと・悩みごとの内容  ・
解決するためのサポート  ・

問8 これまでの活動のご経験から、厳しい状況に置かれているこども・若者や子育て家庭に不足していると考えられるもののうち、重要なものから最大3つまで記入してください。

最も重要なもの	
2番目に重要なもの	
3番目に重要なもの	

## 4. 意見表明について

問9 「こども基本法」や「こどもの居場所づくりに関する指針」などにおいて、こどもからの意見をこども支援の施策に反映させていくことが求められています。貴機関・団体の活動の中で、こども・若者の意見を取り入れて何かを実施した事例があれば記入してください。また、その際にこども・若者へのフィードバックをした（意見を反映したことを伝えた）場合は、具体的な方法を記入してください。

こども・若者の意見を反映した事例
・
フィードバックを実施した場合の具体的な方法
・

問10 こども・若者にとって、方法・環境・場所などどのような状況であれば意見を言いやすいと思いますか。普段の活動において気をつけていることなどを具体的に記入してください。

方法（どういう方法なら言いやすいか） (例) グループで話す方法、紙に書いて意見を伝える方法など
・
環境（どんな雰囲気・配慮があれば言いやすいか） (例) こども・若者の意見を否定しない、最後まで話を聞いてもらえるなど
・
場所（どんな場所・空間なら言いやすいか） (例) カフェっぽいスペース、オンラインなど
・
その他 (例) 友達と一緒に参加できる、意見を言った後にどう使われたのかフィードバックがあるなど
・



問 12 他機関・団体や常滑市との連携において、どのような課題があると考えていますか。

.

## 6. 市の取り組みについて

問 13 支援活動をより充実させるために、協力や支援を求めたいことはありますか。

常滑市への希望・要望

.

地域の人たちに協力を求めたいこと

.

## 7. 自由記入欄

問 14 こども・若者、子育て施策について、普段感じていることやご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。